

分散する会員各位が、共通目標・理解を進め、
研究会活動をより活性化させるために

実務教育 & アクティブインターンシップから 実務教育研究会へ～の活動

1

2016.5.8 提案



提案の概要

- 2014年5月より開始した「実務教育&アクティブインターンシップ研究会」は、大学向けに“バーチャルインターンシップ”を主として研究・検討してきた
- 2014年度はJST(RISTEX)プログラムへの応募、CIEC2015への論文投稿・発表、複数の工科系大学への紹介・評価フィードバックなど一定の成果を得た
- 2015年度より14年度提案内容に沿った具体的教材の開発・作成に着手、「実務教育研究会(改称)」で内容検討を行っている
- 今回、教材作りなどで増加する作業と、実務教育の深堀研究とを両立、より活動を活性化させるため、目的・行動を考慮した下記を提案
 - 研究会のミッションを再定義、“実務教育の研究”および“実務教育の実践”の二本柱とする
 - 活動の効率的運営のため、後者を研究会内に設置する「事業部会(仮称)」で行う

特定非営利活動法人（NPO法人）

日本アクティブキャリア開発（JACD）

実務教育事業
実務教育研究会

（実務教育研究会）
実務教育調査研究
実務教育提案・研究発表
実務教育事業企画

（事業部会）
実務教育教材作成
大学・企業への提案/実施
実務教育事業運営

キャリアコンサルティング事業
キャリアコンサルティング
専門部会

コンサルティングスキル向上
コンサルティング実践
ジョブカード作成
ライフプラン

（連携）

実務教育研究会の活動

- 実務教育研究会
 - 大学生の“ものづくり教育”の一助として、アクティブインターンシップ講座を開発、実践する
 - **研究会活動**：研究・論文・ホワイトペーパー・事業企画・提案書
 - アクティブインターンシップの研究・論文
 - ものづくりに係る大学教育の実態把握
 - 外部発信資料作成と発信、プロジェクト応募
 - 企業実務教育へ展開検討
 - シニア活用のしくみ検討
 - **事業部会活動**：教材作成・事業運営
 - 実務教育教材の開発
 - 大学・企業へ実務教育の提案・実施
 - (シニア活用)

当面の「研究会」活動

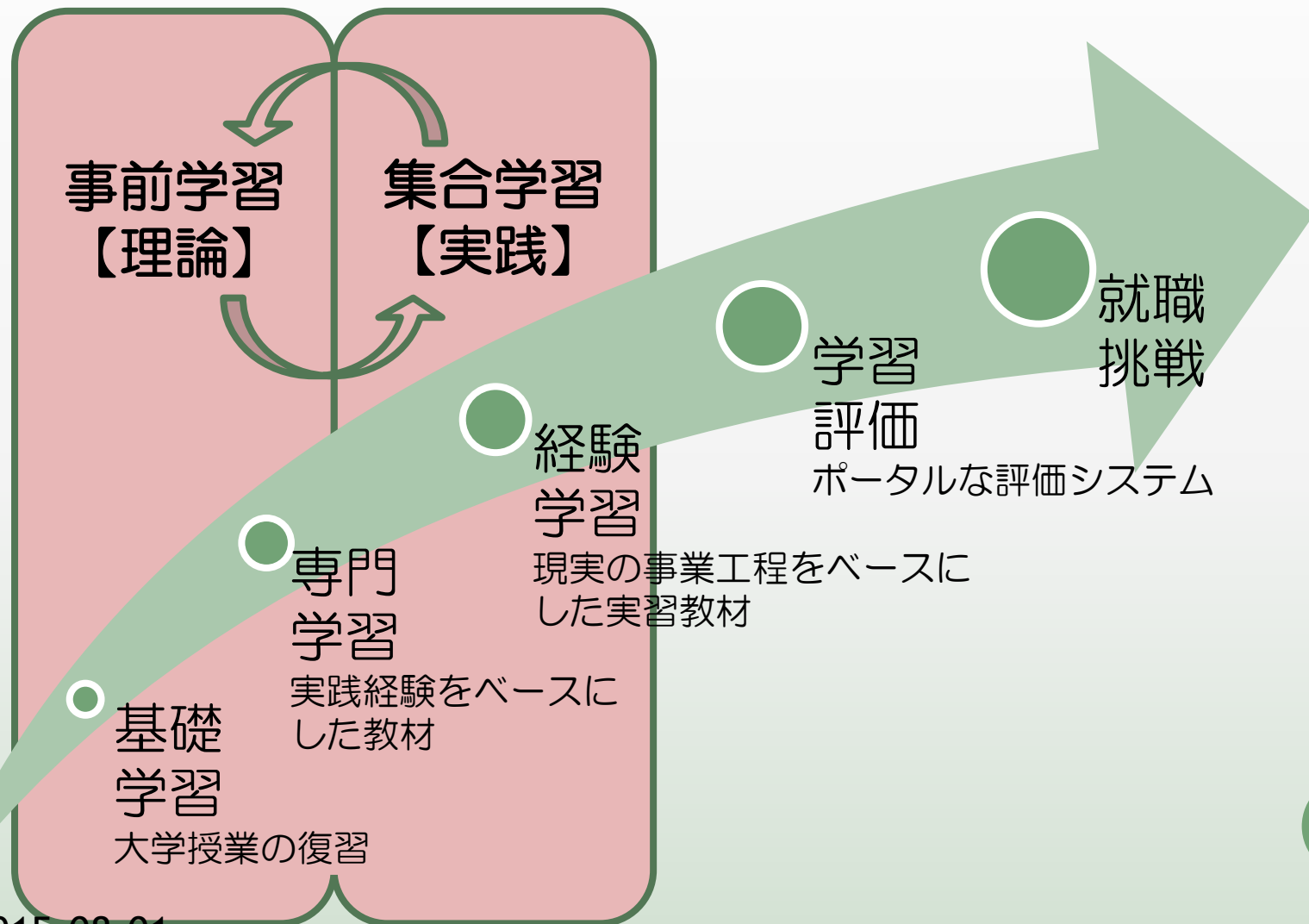
- 大学向け実務教育教材の構成研究
 - 大学への講座提案アプローチ法の検討、PR資料検討
 - 企業向け実務教育内容の検討
 - 大学・企業への実務教育事業の具体化検討
 - ものづくり実践教材の研究
 - 大学教育改革の影響検討と活用
 - Eラーニング手法の研究
 - 論文作成・学会等発表
-
- 研究会開催頻度
 - 研究会：1回/3か月 @川口市パートナーズステーションほか
 - 事業部会：1-2回/1か月 @任意場所

当面の「事業部会」活動

- 大学向け実務教育教材の開発（アクティブインターンシップ）
- 大学への講座提案
- 大学への教育実施（ショートコース）
- 企業向け実務教育の開発
- 企業への人材育成教育提案（個別設計）
- 企業への教育実施
- ものづくり実践教材の開発（大学実験教材、A I 補助教材）
- キャリアメイク手法の検討（キャリアコンサルティング、ジョブカード）

- 研究会開催頻度
 - 研究会：1回/3か月 @川口市パートナーステーションほか
 - 事業部会：1-2回/1か月 @任意場所

実務教育とは



アクティブインターンシップ

